

(公社) 北海道トラック協会

セーフティ通信

～ストップ・ザ・交通事故～

第1519号

R01.12.11

(公社) 北海道トラック協会

TEL (011) 511-9784

FAX (011) 521-5810

HP アドレス <http://www.ha.or.jp/>

鉄道と道路が交差する箇所における橋桁等との衝突事故防止

3.3m

『高さ制限』に注意！

確認

11月21日午前5時ころ、芦別市野花南のJR根室線で、国道上を通る架道橋に走行中のトレーラに積まれた油圧ショベルが接触して橋桁の一部を破損し、JRの列車が走行不能となった。

12月3日午前8時半ころ、札幌市手稲区富丘の市道をまたぐJR函館本線の高架下で、高さ制限(3.3m)を示す鋼鉄製のバーに大型ダンプカーの荷台部分が接触し、市道が5時間通行止めとなった。

自車の高さ、積み荷の高さを確実に把握！
圧雪、凍結路面等では車両の高さ+路面の高さを考慮する！

降積雪期における輸送の安全確保の徹底

標記の件について、国土交通省北海道運輸局から文書(令和元年12月5日付け北技保第247号)が発出されました。

【トラック向け】～北ト協ホームページ「お知らせ」掲載～

- 気象情報(大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。)や道路における降雪状況等を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。
 - ① 積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期にスタッドレスタイヤ及びタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。
なお、スタッドレスタイヤへ交換する際は、ホイール・ボルトの誤組防止締付トルクの管理を確実に行うこと。
 - ② 点呼時等において、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
 - ③ 積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
 - ④ 気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行計画の変更及び利用者への情報提供等の適切な措置を講ずること。
 - ⑤ 乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。

冬道の安全運転

- ・すべりやすさをしっかり理解！
- ・冬道のブレーキングを実行！
- ・アクセルはソフトに踏み込む！
- ・視界不良を甘く見ない！